

新ブランドスローガン “人が集まる「人」をつくる、大学。”



SHIKOKU SPORTS FESTIVAL 2019開催!!



学長
松重 和美

スポーツを通じた人材育成と大学改革

今年の冬は、地球温暖化の影響のためか、徳島では雪を見ることは殆どありませんでした。3月には、本学で学び育った学生の皆さんが卒業を迎え、新たな世界に旅立ちます。希望の職場での活躍を夢みて、これからの予測が難しい社会に不安を感じながらも、是非、四国大学での学びを基盤に、いろんな変革にも積極的にチャレンジする姿勢で、臨んでほしいと思っています。

桜が満開する4月、多くの新入生が入学してきます。最近では、海外からの留学生や芸術・スポーツ分野で優れた実績を持ち、世界・国内トップを目指すアスリートもいます。学問

に加え、芸術やスポーツを通じた人間としての成長、地域・社会に感動・活力を与えてくれると期待しています。

大学自体も、社会に求められる人材の育成、これからの世の中の変動を見越した大学改革を行なっています。地域貢献活動はもちろん、AI（人工知能）やSDGsにも取り組んでいます。新ブランドスローガン“人が集まる「人」をつくる、大学。”の元、魅力ある、特徴ある大学を目指して、同窓生の皆さん方のご支援を頂きながら、教職員がOne Teamとなって頑張っていきたいと考えています。



副理事長
山本 光憲

人が集まる「人」をつくる、大学。

昨年は「平成最後」と「令和最初」の枕詞が散見され、耳にするたびご馳走様、という感じでしたが、使われるのは便利な証拠、というわけで、令和最初の初詣は、近所の氏神社に参詣しました。この神社では、年明けと同時に著名な書家による書初めが行われるのですが、私の目に飛び込んできた令和最初の一文字は「創」でした。まさに新たな時代にふさわしい一文字だと感心しました。そして、今年の干支は「庚子（かのえね）」。

干支に込められた意味には諸説ありますが、庚子について一言で表すと「新しい時代に新しい変化を遂げる年」と言えそうです。

この新しい時代において、本学は、新ブラ

ンドスローガン、“人が集まる「人」をつくる、大学。”を掲げて新価値創造に取り組んでいます。令和2年度からは、日本語教員養成課程やAI応用人材育成プログラム、認定絵本士養成講座など、時代のニーズに応じた新たな教育が目白押し。また、スポーツ分野においても本学の取組がスポーツ庁の「大学スポーツ振興の推進事業」に採択されたことにより、今後、ブランディングや人材育成に関する様々な事業が展開されます。本学の伝統である「学生一人ひとりを大切にしたい教育」と、これら新たな取組を通じ、多様で魅力的な個性をもつ学生が“人が集まる「人」として大きく成長することに期待しています。



令和元年度

父母会だより



会長
岩切 浩一

平成31年から令和元年へ

新しい時代の幕開けともいえる年となりました。災害にも見まわれましたが、ラグビーWC開催や東京五輪を控えるなど、明るい祝賀ムードに沸いた1年でした。

新しい元号にも関心が集まりました。学生の皆さんには、万葉集に親しまれている方も多い事でしょう。

私はさほど明るくはありませんが、山上憶良の歌には親しみを覚えます。古文ではなく日本史の教科書に出ていた記憶があります。子らを思う歌、その反歌の「銀も金も玉も何せむにまされる宝子にしかめやも」心の底か

ら迸り出た歌です。私も初めて親になった日子育ての時、同じ思いでした。子が幼いから可愛いというだけでなく、子が大人になった今、より理解できる気がします。貧窮問答歌もしくり。人が子を思う気持ち、人が人を思う気持ちは古代も同じだと感動します。

新しい時代になり、AIをはじめ素晴らしい科学技術の進歩があったとしても、人の心だけは変わらず温かいものであれ。学生の皆さんには、これを忘れないでいただきたいと思います。

父母会第1回評議員会及び総会開催

令和元年6月9日(日)午前10時30分から本学本館大会議室にて、河野稔彦会長はじめ役員・評議員64名、大学側からは佐藤一郎理事長・松重和美学長はじめ関係者17名が出席し、第1回評議員会を開催いたしました。河野会長の挨拶の後、松重学長が挨拶を述べ、続いて予定された議事について審議しました。

午後1時から共通講義棟にて、会員233名、大学側23名の出席のもと総会を開催いたしました。前年度事業・決算報告の後、役員改選においては、河野稔彦会長及び中村貴子副会長、大栗朱美副会長、日浦真由美監事が退任され、後任として岩切浩一氏が会長、山崎和喜氏、近藤太氏、が副会長に、大住満寿夫氏が監事から副会長に、福島京子氏、相瑞

陽子氏が監事に就任され体制が整いました。退任されました4名の旧役員には、松重学長から感謝状と記念品が贈呈されました。その後、岩切会長により総会議事進行が行われ、予定された議案は満場一致で全て承認されました。

議事終了後は松重学長から「大学の現状と最近の取組について」、渡部学生支援担当部長から「学生生活について」、榎本就職キャリア支援部長から「四国大学の就職状況について」、佐野事務局長から「四国大学および四国大学短期大学部と父母会との連携について」と題して大学の現状報告が行われました。

総会終了後は各学科・専攻ごとに、保護者と教員による個別面談が実施されました。



第1回 評議員会



総会

地区別父母懇談会開催

令和元年度の地区別父母懇談会は、6月30日(日)の沖縄県地区を初めとして、高知県・愛媛県・香川県・中国地区(広島県)で次のとおり開催しました。各会場には多数の会員の方々の御出席をいただきました。

各地区別父母懇談会では、父母会会長(沖縄県を除く)、地区担当父母会副会長の挨拶に始まり、松重学長(沖縄県、高知県、愛媛県)、川本副学長(香川県、中国地区)から「四国大学の概要と今後の展開」についてのプレゼンテーションを始め、本学の現状報告を行いました。

その後、学部・学科別懇談や保護者と教員との学科・専攻別個別面談が行われ、学生の日常生活や学業、成績、進路等についての思いや願い、要望等を熱心に相談されていました。

各会場での個別面談待ち時間には、四国大学PRムービーDVDの再生、保護者の方同士がお話をする場面も見受けられ、親睦を深める良い機会にもな

たのではないかと思います。

来年度も地区別父母懇談会開催を予定しておりますので、今年度出席できなかった方も参加していただけたらと思います。来年度の開催日程は、案内はがき及びHP等でお知らせいたします。



地区別父母懇談会



地区別父母懇談会

令和元年度地区別父母懇談会開催一覧

開催地区	日 時
沖縄県地区父母懇談会	6月30日(日)
高知県地区父母懇談会	8月31日(土)
愛媛県地区父母懇談会	9月1日(日)
香川県地区父母懇談会	9月7日(土)
中国地区父母懇談会	9月8日(日)

父母会第2回評議員会開催

令和元年11月9日(土)午前10時30分から、本学本館大会議室にて、岩切会長はじめ役員・評議員66名、大学側から佐藤理事長・松重学長はじめ関係者18名出席のもと、第2回評議員会を開催しました。岩切会長の挨拶の後、松重学長が挨拶を述べ、議事に入りました。

議事では、岩切会長の議長のもと、出越学生支援課長から「父母会の活動状況」、及び「大学教育の支援事業」について報告しました。

議事の後、松重学長から「四国大学の最近の取組と今後」について、及び榎本就職キャリア支援部長から「これからの就職活動について」、渡部学生支援担当部長から「学生生活について」の報告と説明を行いました。

また、評議員会当日は恒例の芳藍祭期間中でもあり、出席された評議員の皆様方も学生の屋内展示・模擬店・演技発表等を観覧されました。



第2回 評議員会

第59回 芳 藍 祭



しこぽんに叱られる ～ポーっと楽しんでんじゃねーよ！～

秋の深まりとともに、キャンパスが最もにぎわう伝統行事である、第59回四国大学芳藍祭が11月7日(木)の前夜祭、企画イベント(学祭 de おどってみた・カラオケ大会) 予選にはじまり、8日(金)から10日(日)の模擬店、演技発表、企画イベント本選、11日(月)の表彰式、閉会式の日程で各部門に分かれて開催されました。

学生が、この4日間のために数ヶ月前から準備や練習に取り組んできた成果を発揮し、熱の入った演技や展示で大学祭を盛り上げました。

また、9日(土)には、本学音楽ホールで「SEAMO・福富弥生」のライブコンサートが開催されました。福富弥生さんは本学の卒業生という事もあり、多くの方がご来場くださり盛況の公演となりました。

今回の芳藍祭での各表彰・奨励賞の一覧は次項にて紹介させていただきます。

最後に、芳藍祭の開催、運営にご協力いただきました企業、団体の皆様ならびに関係者の皆様に深く感謝いたします。また、保護者の方をはじめ、学外の来賓の方や高校生の皆さん、また地域の方々も多数ご来場いただき、ありがとうございました。



委員長あいさつ

第59回 芳藍祭運営委員長

田 中 健 太

皆さん第59回芳藍祭は楽しんでいただけましたか?今年も例年同様、前夜祭を含めた4日間全プロジェクトを晴天の中、開催することができました。ここ数年は運営委員の人数不足のため、芳藍祭を潤滑にできるのか心配でしたが、各学科・クラブ・同好会、先生方の支援やご指導のお蔭で無事に終了することができました。皆様本当にありがとうございました。

先程述べたように、雨の心配が全くなかったので演技発表や学祭 de おどってみた、カラオケ大会などの企画イベントを、全て野外ステージで行うことができました。出演者の方だけでなく、観客の方も大いに楽しんでいただけたと思います。その他にも模擬店や屋内発表そして、SEAMOさんと福富弥生さんのコンサートも大変盛り上がり皆様の楽しい思い出になったと思います。

最後になりましたが、芳藍祭を開催するにあたりご指導いただきました諸先生方をはじめ、各学科・クラブ・同好会の関係者の皆様方、今まで芳藍祭を築いてくださった先輩方、そして地域の皆様に厚く御礼申し上げます。来年は芳藍祭が第60回を迎えるので大きなことをしたいと考えています。皆様、来年の芳藍祭も楽しみにしてください。



… 第59回芳藍祭表彰一覧 …

第59回芳藍祭

テーマ・サブテーマ考案

生活科学部 児童学科

2年 久保 真 叶

第59回芳藍祭

表紙・ポスターデザイン考案

生活科学部 児童学科

2年 片岡 裕 梨



… 第59回芳藍祭奨励賞一覧 …

部門	賞	団体名	内容
展示発表	最優秀賞	看護学科 2年	がんプロジェクト(健康診断)
	優秀賞	生活科学部 看護 3年	生活習慣に関する展示・体力測定
	努力賞	四国大学認定こども園	展 示
	感動賞	生活科学部 心理コース	展 示
	創作賞	書道部	書道展
演技発表	最優秀賞	短期大学部 音楽科	演 奏
	優秀賞	エアロビク・チアダンス部	演技(エアロビク・チアダンス)
	努力賞	ダンス部	演技(ダンス)
	感動賞	手話・点字部	演技(演奏)
	創作賞	児童学科 4年	演技(ダンス)
模擬店発表	ハッスル賞	管理栄養士養成課程	パウンドケーキ
		短期大学部 人間健康科 食物栄養専攻 1年	しこぼんパン
		女子バレーボール部	温かいうどん
総合	同窓会長賞	二大踊り	阿波踊り(徳島)・I竹(沖縄)

企画

学祭 de おどってみた 11月7日(木) (前夜祭) 11月9日(土) エキシビジョン

賞	団体名	代表者
優勝	DTS	前坂 健介(児童学科 4年)
準優勝	TKG	末延源二郎(児童学科 3年)

カラオケ大会 11月7日(木) (前夜祭) 11月9日(土) エキシビジョン

賞	曲名	代表者
優勝	[LOVERS]	夢野 真(児童学科 3年)
準優勝	[My Sunshine]	安部 勇人(児童学科 4年)

展示発表 最優秀賞 看護学科 2年

看護2年 赤川 笙

私達は、年々受け継いできた「健康診断」を芳藍祭のテーマに決定しました。少しでも多くの人たちに健康状態について知っていただきたいと思い、各ブースに立っているだけでなく、積極的な声掛けを全員が心掛け、人を呼び込むことに力をいれました。今回、最優秀賞という素晴らしい賞をいただくことができたのは看護学部生全体の力が合わさったからだと思います。



総合部門 同窓会長賞 二大踊り

阿波踊り部

経情3年 加村 成教

この度、芳藍祭におきまして同窓会長賞という素晴らしい賞を頂き部員一同大変嬉しく思っています。本年度は新しいことに挑戦した年でもあり、練習の成果が実を結び最高のパフォーマンスをすることが出来ました。

今回の賞を受賞できたのも、ついてきてくれた部員、サポートしていただいた方々のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。



沖縄県人会

書道3年 山城 早代

去年に引き続きこのような賞を受賞できたことを大変嬉しく思っております。学祭までの練習では辛く苦しいことが何度もありました。しかし、乗り越えることができたのは一緒に過ごした仲間、遠方の両親、支援して下さった先生方のおかげです。ありがとうございました。また、この度は首里城火災への温かいご支援も頂き、誠に感謝申し上げます。今後も県人会らしく、見てくださる方も楽しめる演技を披露できるよう精進してまいります。



演技発表 最優秀賞 音楽科

音楽2年 掛水 颯太

音楽科は芳藍祭でのライブを一から企画し、音響や照明などの設営、ゲストバンドの誘致など、成功に向けて一丸となっており取り組みました。

出演者やスタッフそれぞれのステージにかけける熱意や創意工夫により幅広い世代が楽しめるステージを作ることができました。今回いただいた最優秀賞を励みとし、3月1日にある音楽科定期演奏会の春ライブに向け、日々の勉強・練習とにより一層努めて参りたいと思います。



学祭 de おどってみた

優勝 DTS 児童4年 前坂 健介

去年に引き続き、今年も努力の末なんとか優勝を勝ち取ることができました。応援してくださった方々、一緒にステージに立った出演者や運営委員の方々、そして共に踊ったメンバーのみんなには感謝の気持ちしかありません。学生生活最後に最高の思い出ができました。本当にありがとうございました。では、こちらへんできよならばいばい。



カラオケ大会

優勝 児童3年 夢野 真

今年もカラオケ大会に出演させていただき、皆さんのおかげで優勝することができました。歌を通して、皆さんに笑顔と楽しさを届けることができたのではないかと思います。何かをすることで人に喜んでもらえたり、楽しんでもらうということは、普段の学生生活や日常生活の中でも大切なことだと思うので、この経験を生かして日々をより良いものにしていければと思います。



展示発表 優秀賞 生活科学科養護3年



演技発表 優秀賞 エアロビク・チアダンス部



展示発表 努力賞 こども園



演技発表 努力賞 ダンス部



展示発表 感動賞 生活科学科心理コース



演技発表 感動賞 手話・点字部



展示発表 創作賞 書道部



演技発表 創作賞 児童学科4年



模擬店発表 ハッスル賞

短大食物栄養専攻1年 しこぼんパン



管理栄養士養成課程 パウンドケーキ



女子バレーボール部 温かいうどん



スポーツ分野 各クラブの活躍

● 陸上競技部 ●

第88回日本学生陸上競技対校選手権大会

幸長慎一選手(生活4年)

円盤投・砲丸投 二冠達成

令和元年9月12日(木)～15日(日)に岐阜県の長良川陸上競技場にて、「第88回日本学生陸上競技対校選手権大会(全日本インカレ)」が行われ、5名の選手が出場しました。設定された標準記録を突破した選手および中四国・西日本インカレの覇者のみが出場できる国内の学生最高峰の競技会で、12日(木)に行われた男子円盤投において、幸長選手が初優勝を果たしました。また、翌日の13日(金)に行われた男子砲丸投では、自己記録を更新して優勝し昨年に続き2連覇を達成。今大会、2冠を果たしました。

その他にも、6月7日(金)～9日(日)神奈川県で「2019日本学生個人選手権大会」が開催され、男子円盤投に出場した幸長 慎一選手(生活4年)が初優勝を果たし、全国チャンピオンになりました。また、6月27日(木)～30日(日)に福岡県博多の森陸上競技場で行われた日本最高峰の競技会である、「第103回日本陸上競技選手権大会」の男子円盤投に幸長選手が出場、56m67の自己新記録を投げ、自身最高の2位入賞を果たしました。同種目8名の入賞者の中で、幸長選手ただ一人が学生での入賞を果たし、また、今回の記録(56m67)は日本学生歴代3位の記録となりました。さらに、先日京都で行われた西日本インカレで自身が樹立した中四国学生記録・西日本学生記録を大幅に更新しました。

さらに、中四国インカレで陸上競技部は4種目で優勝を果たし、総合得点についても女子フィールドの部でチーム最高の2位という成績を収めるなど、来年度も更なる活躍が期待されます。



● 女子バレーボール部 ●

西日本大学バレーボール5学連女子選抜対抗戦 四国学連代表に5名選出

令和元年10月26日(土)・27日(日)にとくぎんトモニアリーナ(徳島市立体育館)にて開催された「第55回四国大学バレーボール秋季リーグ戦」で初優勝を果たし、四国学連加盟16大学の頂点に立ちました。

上記の結果により、11月25日(月)から開催された全日本インカレへの出場を果たしました。また、12月21日(土)～23日(月)に奈良県で開催された、「西日本大学バレーボール5学連女子選抜対抗戦」の四国学連代表14名の中に、坂東 優衣選手(管栄3年)・浦 真奈美選手(管栄3年)・池尾 多都紀選手(児童2年)・楠 有紗選手(管栄2年)・藤倉 由貴選手(管栄2年)の5名が選出され、坂東 優衣選手が見事レシーブ賞に選ばれました。

その他にも、「2019年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会徳島県ラウンド」において2年連続3回目の優勝を果たすなど、今後ともさらなる活躍が期待できます。



● ソフトテニス部 ●

第66回九州・中国・四国三地区学生ソフトテニス選手権大会 女子団体戦三連覇達成

令和元年6月27日(木)に行われた「第70回四国地区大学総合体育大会」にて、男子ソフトテニス部の大館 竜城(経情2年)・春藤 海成(経情2年)が個人戦ダブルスで優勝しました。これにより四国大学男子ソフトテニス部として、四国以上の規模での大会における初優勝を飾ることができました。

また、令和元年10月25日(金)～27日(日)に、高知市にて開催された「第62回秋季四国学生ソフトテニス選手権大会」では、優勝こそ逃しましたがベスト4に3名入賞するなど健闘しました。

令和元年11月16日(土)～18日(月)に、山口県宇部市で開催された「第66回九州・中国・四国三地区学生ソフトテニス選手権大会」にて、女子ソフトテニス部が団体戦で、四国大学Aチーム【森口 美咲(児童3年)・山本 奈々子(メディア3年)・渡邊 奈々恵(メディア2年)・坂田 華乃子(生活2年)】が優勝し三連覇を達成しました。さらに、同大会の女子個人戦でも森口 美咲(児童3年)・山本 奈々子(メディア3年)ペアが優勝、下地 真未(児童2年)・絵内 帆乃佳(児童4年)ペアも3位入賞を果たしました。その他、西日本大会、県内の大会等でも好成績を収めており、今後益々のご活躍が期待されます。



● 女子ラグビー部 ●

リージョナルウィメンズセブンズ関東大会 来季のシリーズ昇格達成

令和元年5月11・12日の2日間、千葉県の麗沢大学ラグビー場で行われた「リージョナルウィメンズセブンズ関東大会」で初優勝を果たしました。この結果により、女子7人制ラグビー部は国内最高峰の大会、「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ」への参入を懸けた入れ替え戦の出場権を獲得し、7月13・14日に横浜市の日体大健志台グラウンドで行われた「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2019入替戦」で準優勝し、上位2チームに認められる来季のシリーズ昇格を果たしました。国内最高峰となる同シリーズに女子7人制ラグビー部が参入するのは初めてです。

また、「リージョナルウィメンズセブンズ関西大会」でも、日本体育大学のクラブチーム・UNICORNS(神奈川)に34-5と圧勝し、優勝を果たしており、今後、益々の活躍が期待されます。



● 女子サッカー部 ●

第28回全日本大学女子サッカー選手権大会 5年連続出場

四国大学イーグレッツが、四国代表として出場した「第28回全日本大学女子サッカー選手権大会(インカレ)」が令和元年12月24日～26日にかけ、三木総合防災公園にて行われました。2回戦目の大阪体育大学相手に健闘するも残念ながら1-9で敗退しましたが、選手権大会5年連続出場の経験を活かし、来季の更なる活躍が期待されます。



● 弓道部 ●

第65回中四国学生弓道選手権大会 女子団体・個人優勝他、全国大会出場権獲得

令和元年10月4日(金)～6日(日)に鳴門・大塚スポーツパークのアミノバリューホールで開催された第65回中四国学生弓道選手権大会において女子団体の部【倉元 結花子(人間生活1年)・中山 綾香(経情1年)・中山 亜莉沙(人間生活1年)・脇 みれい(BC2年)・岸 鈴乃(看護2年)】が決勝リーグ9戦全勝で優勝、また女子個人戦では中山 綾香(経情1年)が優勝し、女子最高の中者賞も獲得しました。

上記の成績により、11月26日・27日に三重県伊勢神宮弓道場で開催された第43回全日本学生弓道女子王座決定戦【団体戦】・第43回女子東西学生弓道選抜対抗試合【中四国ブロック代表(西軍)】に中山選手が、令和2年6月29日・30日に東京都明治神宮で開催される第31回全国大学弓道選抜大会の出場権を獲得しました。

第43回全日本学生弓道女子王座決定戦【団体戦】では、トーナメント戦の結果ベスト4となりました。

来年度には全国大学弓道選抜大会も控えており、今後の活躍も期待されます。



第70回四国地区大学総合体育大会 — 参加競技で各クラブ健闘 —

令和元年6月21日～7月7日の期間、週末を中心に愛媛県内各会場で第70回四国地区大学総合体育大会が開催されました。本学で6月20日に結団式が行われ、大会には15競技286名参加しました。

各部、日頃の練習の成果を大いに発揮し、団体戦では男子軟式野球部が優勝、女子の部ではバスケットボール部・ソフトテニス部・バレーボール部が準優勝をおさめました。

また、個人戦では男子の部で陸上競技部の三田穂貴選手(日文1年)が円盤投で優勝、ソフトテニス部の春藤海成(経情2年)・大館竜城(経情2年)ペアが優勝を果たしました。女子の部では、陸上競技部の近藤真由選手(児童4年)が100mで優勝、坂本彩華選手(生活1年)が円盤投で優勝、松尾あかね選手(生活1年)が砲丸投で優勝、ソフトテニス部の山本菜々子(メディア3年)・森口美咲(児童3年)ペアが優勝を果たしました。



第70回四国地区大学総合体育大会成績

(男子・団体)

競技種目	成績
軟式野球	優勝
ソフトテニス	3位

(女子・団体)

競技種目	成績
バスケットボール	準優勝
ソフトテニス	準優勝
バレーボール	準優勝
バドミントン	3位
弓道	短期大学部3位
フットサル	3位

(男子・個人)

競技種目	成績
陸上競技	円盤投 優勝 三田 穂貴(日文1年) 走高跳 3位 川西 寿弥(経情1年)
ソフトテニス	個人戦 優勝 春藤 海成・大館 竜城(経情2年)

(女子・個人)

競技種目	成績
陸上競技	100m 優勝・200m 3位 近藤 真由(児童4年) 円盤投 優勝 坂本 彩華(生活1年) 砲丸投 優勝 松尾 あかね(生活1年) 棒高跳 2位 寺内 春菜(児童3年)
水泳	50m自由形 3位・200m個人メドレー 3位 福西 真子(看護3年)
ソフトテニス	個人戦 優勝 山本 菜々子(メディア3年) 森口 美咲(児童3年)

総合成績 男子総合 7位 (16大学) 女子総合 5位 (19大学)

文化系クラブ・芸術分野での活躍

書道展大賞受賞

令和元年8月20～25日の期間、大阪市立美術館において、公益社団法人日本書芸・読売新聞社主催「第24回全日本高校・大学生書道展」が開催され、書道文化学科が大学(団体)の部で最優秀校(全国1位)に選ばれました。個人賞各賞にも多くの学生が入賞し、書道展大賞は【漢字】長野真大(4年)、田中篁心(3年)【かな】是永栄緒(4年)、原田祥伍(4年)、山本羽純(3年)が受賞しました。

また、令和元年8月25日(日)、大阪市中之島のリーガロイヤルホテルで授賞式が開催され、文学部書道文化学科の学生、松重学長及び書道文化学科教員の計45名が出席し、代表して那須彩乃(4年)が謝辞を述べました。



第104回 二科展デザイン部門

人間生活科学科デザインコース8名が入選

令和元年8月、東京六本木・国立新美術館で二科展デザイン部門の審査が行われ、その結果、人間生活科学科(2-4年生生活科学科)デザインコースの学生8名が入選を獲得しました。

二科展デザイン部門は日本で最も歴史のある公募展であり、プロ・アマ同時審査の為、入選は非常に厳しい状態になっています。作品は、令和元年9月4日(水)～16日(月)の間、東京六本木・国立新美術館にて展示されました。



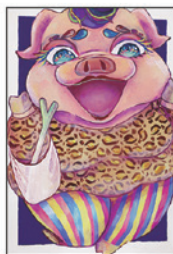
村田 佳奈子(2年)



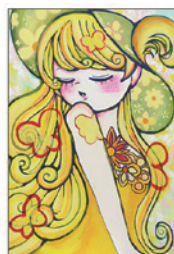
山崎 百絵(1年)



田中 綾乃(4年)



高井 奈穂(3年)



小村 智美(3年)



栗飯原 綾(1年)



相原 佑香(1年)



栗飯原 早希(4年)

第67回 全日本吹奏楽コンクール

吹奏楽部が大学部門で4年連続銅賞受賞

令和元年8月23日(金)～25日(日)、松山市民会館大ホール(愛媛県松山市)にて「第67回全日本吹奏楽コンクール四国支部大会」が開催され、本学の吹奏楽部が大学部門に出場し、金賞を受賞しました。その結果、10月26日にリンクステーションホール青森(青森県青森市)で開催された「第67回全日本吹奏楽コンクール」に大学部門の四国地区代表として、本学吹奏楽部が出場し、4年連続で銅賞を受賞しました。





スポーツ庁「大学スポーツ振興の推進事業」の委託を受けて



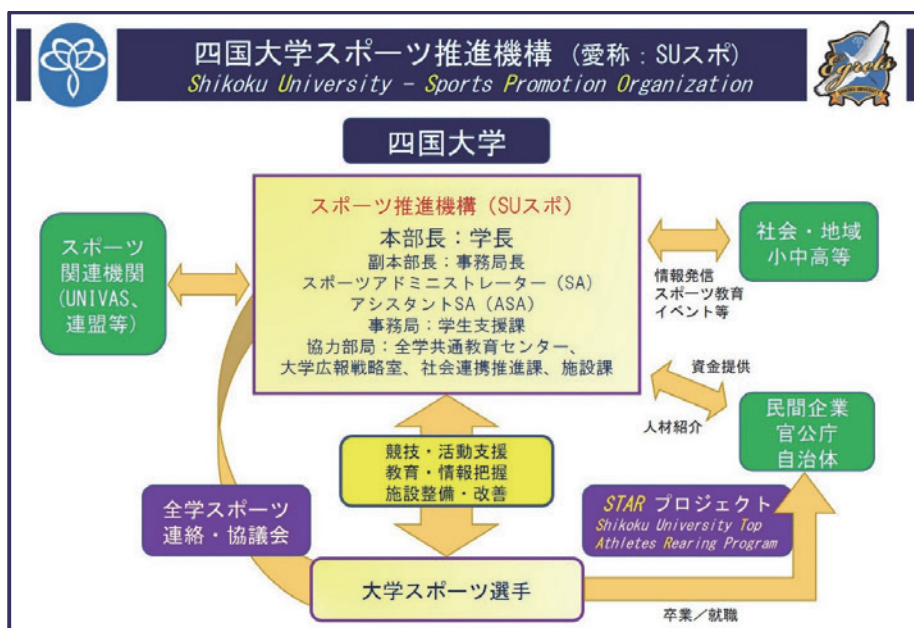
～四国大学スポーツの魅力を発信する～

本学では、スポーツが持つ多様な価値に着目し、魅力ある大学づくりの重要な要素として、大学を挙げてスポーツ分野の体制整備に取り組んできました。特別奨学金制度の策定や人工芝球技場、スポーツ健康館等の新設・拡充などアスリートの環境整備に努めてきました。150名を超える多数のスポーツ選手の入学、さらには全国トップレベルの学生を輩出することにより、県内外でも大きな関心・期待感を創出してきています。

一方では、規模拡大に伴い、大学全体としてのスポーツ分野の運営・統括、全体調整を行える体制・人材配置や

各競技の横断的な連携等の課題も見えてきました。

このような状況を踏まえ、スポーツ庁の事業に企画・提案したものが採択され、11月より取り組むことになりました。学長を本部長とする「四国大学スポーツ推進機構(SUスポ)」を立ち上げ、スポーツアドミニストレーター(SA)を配置することにより、「スポーツフェスティバル2019」や「フットボール対抗戦」等のスポーツ関連事業等の全体運営・管理を行い、スポーツを通じた人材育成を視野に入れた大学スポーツのあり方、地域社会への役割において先進的モデルとなることを目指したいと考えています。



第17回四国大学青春川柳コンクール

令和元年11月9日に2019年度四国大学青春川柳コンクールの表彰式及び入選作品の展覧会が行われました。応募総数2047人、応募句数6804句の中から特別賞10句、入選40句、佳作100句が選ばれました。表彰式では特別賞と入選の50名が表彰され、受賞者はそれぞれの川柳に込めた意味や思いを語ってくれました。たくさんのご応募ありがとうございました。



【特別賞】(10句)

2019 四国大学青春川柳大賞

エラーして「大丈夫」と肩に土まみれの手

谷 百華 (徳島・穴吹高校)

四国大学学長賞

体育祭戦犯ヒーロー紙一重

南 翔太 (徳島・徳島北高校)

四国大学理事長賞

引き潮に引かれて消えた桜貝

菅 貴久代 (愛媛県新居浜市)

四国大学副学長賞

合格で証明された天動説

西出 梨帆 (石川・金沢商業高校)

四国大学文学部長賞

その声は我が友李徴子ではないか？

門田萌々花 (愛媛・新居浜東高校)

空蟬が生きた証の爪を立て

カジ (東京都豊島区)

四国大学学生支援担当部長賞

数時間歩いて気付く迷ってる

北岡 優花 (高知・高知工業高校)

夏祭り誰と行くのか言えない友

二口 紗衣 (石川・金沢商業高校)

四国大学図書館長賞

君に恋本をたくさん読みました

岩井 壮介 (奈良県奈良市)

図書館の君の席より二つ空け

アマリリス (岐阜県岐阜市)

キャリアセンターだより

経団連と国公立大学のトップで構成される「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」では、Society4.0（情報社会）の次の時代として到来が予想される、Society5.0（創造社会）に対応できる人材が求められるとしています。そのような人材を育成するために必要な大学教育、企業の採用や処遇のあり方などについて、「現状の課題」、「今後の改革の方向性」、「産学が協働して取り組むアクション」について多くの認識を共有し、その取組を進めています。

その結果求められるのは、自ら課題を見つけ、AIなどを活用してそれを解決できる人材、また、多様性をもった集団において、リーダーシップが発揮できる人材が求められています。

同時に、日本型雇用慣行のモデルチェンジも求められています。本年より実施される採用選考に関する方針も、従来の経団連から国が主導する形となりましたが、それ以外の将来への方向性として、「多様な人材の採用」、「社員自律のキャリア形成」、「多様な雇用形態・働き方」、「多様な処遇制度」などの項目が掲げられており、それを踏まえた大学教育改革やキャリア教育の見直しが問われています。

また、今後のインターンシップのあり方について、「1、2年次のキャリア教育として学業への動機づけや業界・企業・職種への理解促進」、「長期インターンシップはミスマッチによる離職防止」などが期待されています。また、「ワンデーインターンシップは、教育的意義を持つインターンシップとは区別し、別の呼称とするべき」などの議論が交わされています。

このように採用活動が早期化し、インターンシップ環境が変化しても、企業が学生に求める資質・能力は、「主体性」、「実行力」、「課題設定・解決能力」の3つが依然としてトップ3を占めています。こうした資質・能力は一朝一夕に身につくものではありません。「自己成長につながることに對して貪欲に行動すること」、「仲間との議論の中で考えを深めること」、「いろいろな価値観に触れて視野を広げること」です。四国大学では講義だけでなく、サークル活動、地域貢献活動、学生プロジェクト支援事業、海外留学制度など、多様な学びの機会が開かれています。失敗を恐れず、自ら考え自ら行動することで、学生生活を充実させることが就職内定につながるのです。

次に、希望企業への内定を得るためにしていただきたいことがあります。それは、就職キャリア支援課が行うガイダンスやセミナーにすべて参加することです。就活生として、どのように準備し、どのように行動するのか、具体的な動き方を説明するのが、就職キャリア支援課が行うガイダンスやセミナーです。また、就職に関する相談や悩みは個別にキャリアセンター職員、キャリア相談員（臨床心理士・キャリアカウンセラー）がお答えすることにしています。

令和元年度は、大学3年生及び短大1年生対象に別表1の就職支援関係を実施しました。その中の主な行事について、その内容を簡単に紹介します。

（別表1）就職支援関係行事（大学3年、短大1年対象のみ）

月	行 事
4月	学科別オリエンテーション
5月	第1回就職ガイダンス
6月	就職情報サイト活用セミナー 就職講演会
7月	インターンシップセミナー リクルートファッションセミナー、メイクアップ講座
8月	SPI対策講座
8・9月	ジョブハンティングシステム登録説明会
9月	エントリーシートガイダンス（基礎編）
10月	第2回就職ガイダンス 専門職ガイダンス エントリーシートガイダンス（応用編）
11月	学内企業研究会事前セミナー
12月～	自己PR作成講座
12月	学内企業研究会 インターンシップ報告会 就職体験合同発表会
1月	第3回就職ガイダンス 面接対策講座
2月	集団面接対策講座 就活直前セミナー 就活トライツアー直前セミナー
3月	就活トライツアー

◇就職ガイダンス

就職準備を円滑に進めるために、年3回開催しています。5月には就職活動の概要、10月には業界・企業研究の再点検、1月には本番直前ファイナルチェックなど、各時期に応じて学生が準備すべきことを説明しました。



◇学内企業研究会

学生の業界・職種・企業研究をより一層深めるために、毎年実施しています。本年度も各企業の仕事内容説明の後、質疑応答が行われ、充実した研究会となりました。なお、参加事業所は100事業所、参加学生数は279名でした。



◇就活トライツアー

採用広報解禁日の3月1日に、大阪で開催される西日本最大の合同企業説明会に参加しています。この合同企業説明会への参加は、企業についての理解を深め、職業選択の視野を広げる上で大いに役立っています。



私たちキャリアセンター職員は、皆さん全員が希望の進路に進めるよう日々支援を惜しみません。もし、進路選択で分からないことがあったり、就職活動に行き詰まったり悩んだりしたときは、是非中央棟（A館）2階のキャリアセンターに足を運んでください。

令和元年度 四国大学学生プロジェクト支援事業 (学生 GP)

令和元年度学生プロジェクト支援事業に、学生が主体となって取り組む教育研究、社会、地域貢献に関するプロジェクトに14件の応募がありました。書類審査、ヒアリングの結果、14件すべてのプロジェクトが採択され、6月に認証式を行いました。前期にて終了した短期プロジェクト「高大連携Ⅱあわ藍愛プロジェクト PART Ⅱ「進化型」～「藍」をデザインする～」と「鮎喰川で遊ぼう」の2件は芳藍祭期間中にパネル展示による活動報告をし、その他12件も中間報告を行いました。

各プロジェクトともに当初の計画どおり進捗しており、特に地域活性に貢献しているプロジェクトは、多くのボランティアやイベント等に参加するだけでなく、企画から運営など積極的な活動に取り組んでおります。今後も年度末まで長期プロジェクト12件は活動を続け、令和2年4月21日に本学共通講義棟にてプレゼンテーションによる活動報告会を予定しています。

令和元年度 「きみのやる気を応援します！」学生プロジェクト支援事業 採択プロジェクト一覧

新規 継続	期間	区分	プロジェクト名	代表者			グループ 人数	指導教員
				所属	学年	氏名		
継続	長期	教育研究地域貢献	地域いさき！文化財－四国大学発信－	文学部日本文学科	4	山口 幸歩	13	須藤 茂樹
継続	長期	地域貢献	ブックテラズー「読む」を楽しむー	文学部日本文学科	3	國澤 桃	9	杉山 悦子
継続	短期	地域貢献	「高大連携Ⅱあわ藍愛プロジェクト」 ～「藍」で「愛」を描く～	文学部書道文化学科	3	田中つぐみ	28	安永 潔
新規	長期	教育研究地域貢献	Tokushimaのええとこ、世界とshare ～外国人目線で徳島の魅力を発信～	文学部国際文化学科	3	本江 穰士	37	平 歩
継続	長期	その他	ユメテラス	経営情報学部経営情報学科	2	芝原 智也	17	萩原 八郎
新規	長期	地域貢献	あそびの場を広げよう！	生活科学部児童学科	4	林 映理	20	兼間 和美
継続	長期	地域貢献	児童学科盛り上げ隊！ J.P.	生活科学部児童学科	2	撫養 美里	59	田村 典子
継続	長期	地域貢献	四国大学ゴールデンズクラブ地域貢献Ⅳ ー力になりたくて行った 力をくれたのはボランティアだった！ー	生活科学部児童学科	3	大木 宏美	129	山本 哲生
新規	短期	その他	鮎喰川で遊ぼう	生活科学部児童学科	4	森上 貴裕	17	田村 典子
継続	長期	教育研究	四国大学発 骨々鍛え隊	看護学部看護学科	4	和田 真奈	24	富澤 栄子
継続	長期	教育研究	看護学部発!! 次世代ナイチンゲールプロジェクト ～入浴を科学する～	看護学部看護学科	4	石川菜々子	14	山口 豪
新規	長期	その他	音楽の魅力の世界へ ～FMラジオ、SNSを活用した取り組み～	短期大学部音楽科	1	横田 陸	18	楠本 宏志
新規	長期	教育研究	韓国で学ぶ!! ～日韓の比較による次世代保育者の姿～	短期大学部幼児教育保育科	2	石川 圭吾	8	永井 知子
新規	長期	地域貢献	地球環境を守ろう	短期大学部ビジネス・コミュニケーション科	2	TOMAR DUSHYANT	11	元木 佳江



学生 GP 認証式 (6月)



ブックテラズー



鮎喰川で遊ぼう



地球環境を守ろう

◆ 四国大学後援会総会開催 ◆

11月8日(金) 令和元年度後援会総会が、会長をはじめ役員・会員15名、大学側から佐藤理事長他関係者18名の出席のもと開催されました。議事では、平成30年度決算報告、令和元年度予算案、役員改選などが審議され、原案どおり承認されました。役員改選では、今年度より山本光憲副理事長が参与として、日野秀美経理課長が幹事として就任されました。次に、大学の現状報告として松重学長から「四国大学の最近の取組と今後一人が集まる「人」をつくる、大学」と題して、四国大学のブランディング事業、新築されたスポーツ施設の紹介や大会での活躍、地域社会・地域に貢献する学生の育成、今後の新たな取り組みの事例や就職支援などの報告がありました。会員からは後援会に寄せる活発なご意見を頂き盛会裡に終了しました。



見つけよう君の未来!

**SHIKOKU UNIVERSITY
OPEN CAMPUS 2020**

文学部	経営情報学部	生活科学部	看護学部	短期大学部
第1回 4.25 Sat	第2回 6.14 Sun	第3回 7.12 Sun	第4回 8.2 Sun	第5回 8.22 Sat
				第6回 9.13 Sun

【開催時間 10:00-16:00】

四国大学 広報課
TEL 0120-65-9906
FAX 0870-17501

参加希望日の無料の乗車券までに、ホームページまたはお電話にてお申し込みください。